

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【公開番号】特開2016-174600(P2016-174600A)
 【公開日】平成28年10月6日 (2016.10.6)
 【年通号数】公開・登録公報2016-058
 【出願番号】特願2016-41689(P2016-41689)
 【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

G 0 1 N 33/68 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/68 Z N A A

C 1 2 N 15/00 A

G 0 1 N 33/68

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月4日 (2016.11.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

腎癌患者について可能性のある臨床的結果を予測するための方法であって、

(a) 前記患者から得られた生体試料において、L M N B 1 の R N A 転写物またはその遺伝子産物のレベルを測定する工程と、

(b) L M N B 1 の R N A 転写物またはその遺伝子産物のレベルを正規化して、正規化された L M N B 1 発現レベルを得る工程と、

(c) 前記正規化された L M N B 1 発現レベルが負の臨床的結果と正に相関する場合に、当該患者について可能性のある臨床的結果が予測される工程とを含む、方法。

【請求項 2】

前記正規化された L M N B 1 発現レベルに基づいてレポートを作成する工程をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記負の臨床的結果が癌の再発である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記生体試料が腎細胞癌から得られる、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

表 3 a、3 b、8 a 又は 8 b から選択される少なくとも 1 つの他の遺伝子の R N A 転写物またはその遺伝子産物のレベルを測定する工程をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

腎癌患者から得られた腫瘍に関する病期を予測するための方法であって、

(a) 前記腫瘍から得られた生体試料において、L M N B 1 の R N A 転写物またはその遺伝子産物のレベルを測定する工程と、

(b) L M N B 1 の R N A 転写物またはその遺伝子産物のレベルを正規化して、正規化された L M N B 1 発現レベルを得る工程と、

(c) 前記正規化された L M N B 1 発現レベルが腫瘍の病期の増加と正に相関する場合に

、腫瘍の病期が予測される工程とを含む、方法。

【請求項 7】

前記腫瘍が腎細胞癌である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

癌患者から得られた腫瘍の悪性度を予測するための方法であって、

(a) 前記腫瘍から得られた生体試料において、LMNB1 の RNA 転写物またはその遺伝子産物のレベルを測定する工程と、

(b) LMNB1 の RNA 転写物またはその遺伝子産物のレベルを正規化して、正規化された LMNB1 発現レベルを得る工程と、

(c) 前記正規化された LMNB1 発現レベルが腫瘍の悪性度の増加と正に相関する場合に、腫瘍の悪性度が予測される工程とを含む、方法。

【請求項 9】

前記腫瘍が腎細胞癌である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

腎癌患者から得られた組織試料中の壊死の存在を予測するための方法であって、

(a) 前記組織試料において、LMNB1 の RNA 転写物またはその遺伝子産物のレベルを測定する工程と、

(b) LMNB1 の RNA 転写物またはその遺伝子産物のレベルを正規化して、正規化された LMNB1 発現レベルを得る工程と、

(c) 前記正規化された LMNB1 発現レベルが壊死の存在と正に相関する場合に、組織の壊死の存在が予測される工程とを含む、方法。

【請求項 11】

前記癌が腎細胞癌である、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記患者が前記正規化された LMNB1 発現レベルに基づいて負の臨床的結果を有する可能性を評価するスコアを算出する工程をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記スコアに基づいてレポートを作成する工程をさらに含む、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

表 3 a、3 b、8 a 又は 8 b から選択される少なくとも 1 つの他の遺伝子の RNA 転写物が、CCNB1、PPAP2B、NOS3、CEACAM1、ID1、PRKCH、APOLD1、SGK1、CX3CL1、CASP10 および CCL5 から選択される、請求項 5 に記載の方法。